

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立梅文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関することホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること市から貸与を受けた備品を適切に管理すること利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
和泉シティプラザ	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを整備し、消防訓練及び救命救急研修など安全確保に向けた取組を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書通りに人員の配置を行った。 ・接遇マナー研修やワークショップ実践研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行い、不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・名画鑑賞会や地域団体等との連携事業、例年好評である寄席など、施設の設置目的に沿った事業を行うことができた。
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特化型のアプリを利用した広報や友の会によるチケットの割引など梅文化会館独自の方法で繰り返し人に来てもらえるよう取り組んだ。

イ 市による状況分析

利用者のニーズや地域の特色を踏まえて事業を行っている。また、積極的に新しい広報媒体を活用するなど、利用者に寄り添った運営を行っている。また、多種多様な文化芸術振興事業を開催することで様々な年齢層の誘致を図っている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	76,090	107,823	124,493	106,884	—
稼働率(単位:%)	63.3	69.5	76.7	77.3	—
利用者満足度(単位:%)	92.1	95.1	95.2	94.6	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の低い夜間を主軸に若年層に特化した自主事業を行った。 ・親子で楽しめる夏休み向けの事業を行い、新規利用者獲得を図った。
意見・苦情・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業アンケートを行い、利用者意見の集約を行うことで事業の運営面に反映するなど柔軟に対応することができた。
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の中学校、高校にある吹奏楽部にアプローチをかけ若年層の確保と施設の活性化につなげた。

ウ 市による状況分析

空調工事によるホールや諸室休館の影響もあり、令和4年度より利用者数が減少した。しかし稼働率は継続的な利用者の確保や積極的な広報活動などにより徐々に増加している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
公益財団法人 堺市文化振興財団		公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
収入	指定管理料	102,497,084	103,528,199	99,143,130	99,062,461	98,980,000
	利用料金	10,095,115	16,733,642	20,670,925	15,898,303	20,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	6,293,550	6,371,629	9,655,972	10,384,229	10,628,000
合 計		118,885,749	126,633,470	129,470,027	125,344,993	129,608,000
支出	人件費	35,360,727	36,267,570	36,542,535	36,298,126	37,721,000
	委託料	44,084,326	46,644,764	52,889,837	52,830,760	49,009,000
	総支出額に占める 委託料の割合	39.7%	37.9%	39.9%	41.6%	35.5%
	修繕費	2,264,108	3,101,362	1,725,152	1,577,620	3,520,000
	光熱水費	22,127,234	28,107,388	32,221,426	26,866,656	27,900,000
	その他	7,191,304	9,095,238	9,047,086	9,542,768	19,848,000
合 計		111,027,699	123,216,322	132,426,036	127,115,930	137,998,000
収支差額		7,858,050	3,417,148	-2,956,009	-1,770,937	-8,390,000
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収入	2,056,534	2,603,666	4,017,652	2,894,399	4,384,000
支出	2,550,533	2,898,238	4,271,193	3,353,309	4,065,000
収支差額	-493,999	-294,572	-253,541	-458,910	319,000
(市への納付金の額)	0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して節電・節水対策に取り組んだ結果、令和4年度に比べ光熱水費が減少した。しかし人件費の高騰により、委託料が下がらず収支はマイナスとなった。 その他収入に堺市光熱費高騰に伴う指定管理者管理運営継続支援金2,614,000円を含む。
-------------	---

ウ 市による状況分析

空調工事によるホール及び諸室の休館があったため利用者数が減少し、利用料収入の減少に繋がった結果、収支はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	6回
生涯学習施設活用事業	12回以上	165回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	180,000人以上	106,884人
施設稼働率	80%以上	77.3%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者の満足度:94.6% 文化芸術振興事業に対する満足度:95.6%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	26,500,000円	15,898,303円

イ 市による状況分析

事業回数は目標数に達している。稼働率及び利用者数は目標に近づいているが、利用者数については空調工事の実施による施設の一部休館等の影響により目標値の6割にとどまった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	ホール活用事業の実施回数に大きな変動はなかったものの、生涯学習事業は諸室休館の影響も受けて大幅に減少した。また、利用者の満足度及び利用者数も令和4年度より減少した。しかし、広報活動や幅広い文化講座の実施により減少の割合は押さえることができた。	空調工事による施設の一部休館があったが、事業数を達成できたことは評価できる。しかし、利用者数及び利用料金収入の減少幅が大きいため、さらなる広報活動や、利用の少ない部屋の利用促進などの努力を図られたい。
今後の取組	事業のクオリティはそのままに赤字幅の削減をめざす。また、新規利用者獲得のため主催事業の周知に様々な媒体を利用し、イベントに合ったターゲットにPRできるよう広報の強化を図る。	未達項目について、現状に満足することなく新規利用者の確保や稼働率の低い祝日・夜間の利用向上及び利用料金収入増加に向けた事業の作成などを積極的に取り組んでほしい。また、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図られたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの